

バイクの実技講習で、上り坂に置かれたパイロンに当たらないように走行する学生



運転技術磨き安全通学

松山東雲女子大・短大

新入生ら二輪車講習会

新入生らを対象にした「バイク・自転車講

習会」が11日、松山市桑原3丁目の松山東雲女子大・短期大であり、学生74人が日常点検の重要性や運転技術などを学んだ。

同大は毎年、学生が新生活に慣れ気が緩みがちになる5月に講習会を開いている。県警交通機動隊員や松山東雲署員、二輪車普及安全協会員ら16人が講師を務め、学生と日常点検をしながら注意点などを説明した。

バイクの実技講習は、パイロンが置かれた四つのコースを走行。約3分の振幅があるジグザグコースではバランスを崩し足を着いたり、曲がりきれ

ずコースから外れたりする学生が目立ち、講師が「慌てずアクセルとブレーキのタイミングを意識して」とアドバイスしていた。

入学を機にバイクに乗り始めたという短大

(戸田丘人)

食物栄養学科1年の木沢芽生さん(18)は「教えてもらった目線を遠くにすることを意識して運転に気をつけた」と話した。